

(参考資料) 平成29年度事業の概要

資料2

①情報発信・人材育成事業

No.	事業名	概要	予算額 (千円)
1	「足袋・足袋蔵」デジタルプロモーション事業	「足袋と足袋蔵」の魅力と価値を効果的に発信するため、基礎調査及び分析を行う。調査を踏まえて、足袋と足袋蔵の魅力と価値を周知するため、PR動画及び日本遺産を包括的に取り扱うウェブサイトを作製し、多様なメディアを活用して国内外に広く情報を発信する。	22,000
2	「足袋・足袋蔵」プロモーション事業	足袋と足袋蔵の魅力と価値を周知するためのポスターやのぼり旗、看板ポスター、パンフレットを作製し、観光客に対するPRや回遊性向上と、市民への啓発を図る。	2,500
3	日本遺産認定記念ブース及び日本遺産ガイダンスセンターの設置	日本遺産に関する総合的な情報発信を行う場として日本遺産ガイダンスセンターを整備する。また、市内の公共施設7箇所にパネル展示をメインとした日本遺産認定記念ブースを設置する。	2,000
4	郷土博物館における足袋関連の展示の充実	常設展示室で展示されている足袋関連資料のほか、日本遺産の構成文化財である忍城や古墳文化の資料解説について、外国人来訪者に対応するため、6ヶ国語(日本語・英語・中国語・韓国語・ポルトガル語・スペイン語)音声ガイドを導入する。	4,600
5	観光ガイド育成事業	観光客の受入体制を強化するため、観光ガイドを新規に育成するとともに、既存の観光ガイドの知識の向上などの人材育成を行う。	200
6	藍染・足袋製造実演技術者養成～観光実演・体験指導	足袋づくりの体験、藍染の体験の上級者向け体験イベントを開催し、足袋づくりと藍染の技術に対する理解と関心を高めるとともに、足袋づくり、あるいは藍染の体験指導者の候補となる人材を探し出す。	700
①情報発信・人材育成事業 合計			32,000

②普及啓発事業

No.	事業名	概要	予算額 (千円)
7	日本遺産シンポジウムの開催	日本遺産、認定された行田市のストーリー及び構成資産に対する理解を深めるためにシンポジウムを開催する。	1,000

No.	事業名	概要	予算額（千円）
8	日本遺産勉強会・講座の開催	日本遺産、認定された行田市のストーリー及び構成資産、日本遺産を活かしたまちづくり（地域振興）に対する理解を深めるために連続講座（勉強会）を開催する。	500
9	足袋蔵モニターツアー・足袋づくり体験ツアー	行田の足袋や足袋蔵について、広く周知するとともに、意見集約を図るため、市民向け、外国人記者向け等のモニターツアーを実施する。また、足袋作り体験ができるツアーなどを実施し、体験型観光の推進を図る。	2,000
10	足袋検定の実施	博物館入館者を対象とした行田足袋の歴史に関するクイズを実施し、全問正解者には「行田足袋博士認定証」を交付する。	250
11	日本遺産タペストリーの作製・設置	日本遺産認定の周知、及び観光客の受入体制の充実のため、タペストリーを作製し街中に設置する。	1,250
②普及啓発事業 合計			5,000

③調査研究事業

No.	事業名	概要	予算額（千円）
12	足袋蔵等の近代化遺産の詳細調査	日本遺産の構成資産のうち、詳細調査が行われていない足袋蔵等近代化遺産について、詳細調査実施に向けた予備調査を実施する。	200
13	足袋蔵等再活用のマーケティング・リサーチ	、足袋蔵等歴史的建築物を活用して整備すべき施設のニーズを探るため、日本遺産又は足袋蔵等歴史的建築物に関心の高い来訪者に対するアンケート調査の実施や、足袋蔵等歴史的建築物の所有者に対する意向調査等を実施する。	2,100
③調査研究事業 合計			2,300

④公開活用のための整備に係る事業

No.	事業名	概要	予算額（千円）
14	ぱっとわかる案内板設置事業	日本遺産のストーリーや構成資産の概要・位置図・写真を掲載した案内・説明板や、構成資産の個別説明板、歩行者用案内板の他、既存の案内板や説明板に貼付する日本遺産ロゴマークのステッカーを作製する。また、主要な構成資産である足袋蔵巡りを目的に車で行田市を訪れた観光客が、足袋蔵巡りの拠点であるバスターミナル駐車場を迷うことなく利用できるよう、誘導案内板を主要道路に設置する。	5,000
④公開活用のための整備に係る事業 合計			5,000